



イキすぎたな酔いどれ妻

赤く熟した濡れ穴

presented by まるだっしゅ



長年勤めていた
会社をリストラされ

スーパーでバイトを
始めた頃



ちよつと大杉さん
その商品
違うわよ

あ…
すみません



私は男としての
自信をすっかり
なくしていました



こっちはいいから
裏へ回って

はい…



大丈夫ですよ
私も最初の頃は
失敗してました
から



やだっ
大杉さん
何やってるのよ

いたた



前田さんは
私と同じ部門の
パートの奥さん

ひと回りは
若いのですが

仕事に不慣れな
私を何とか
かばってください



みなさーん
差し入れよ
一つずつ
とってね

わー
サギ屋の
おまんじゅう
それ
好きなのよ

あら
大杉さんの分
なくなっちゃった
え…いえ
私は…

はい
大杉さん

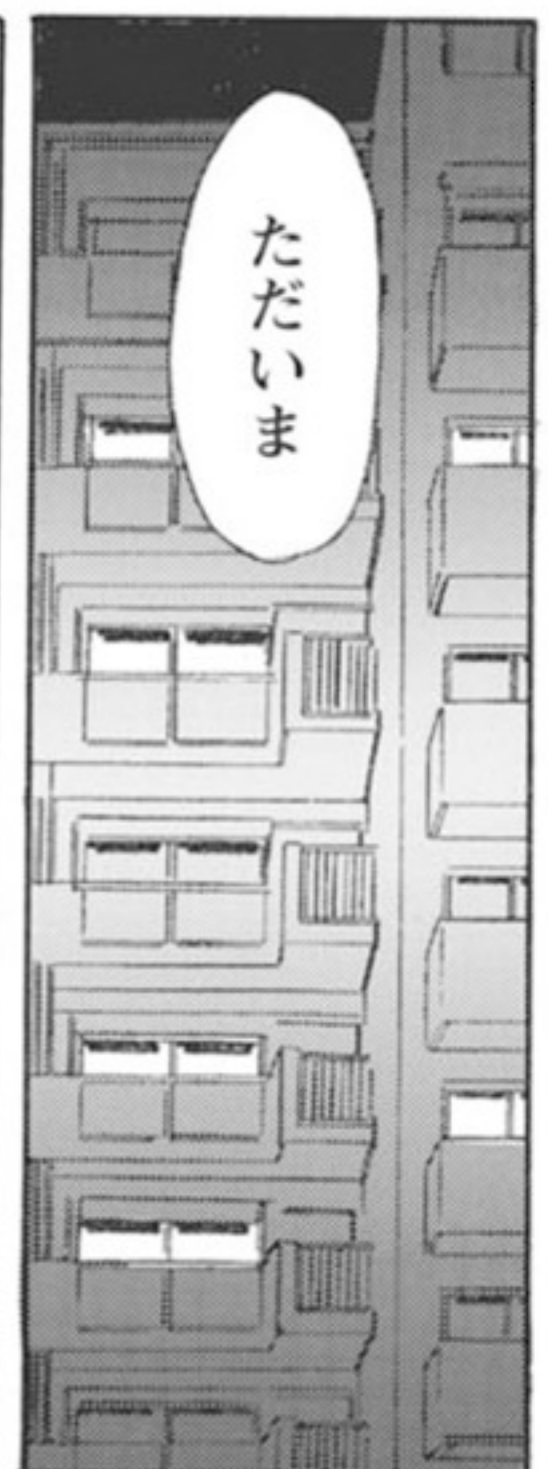
半分コ
しましよ

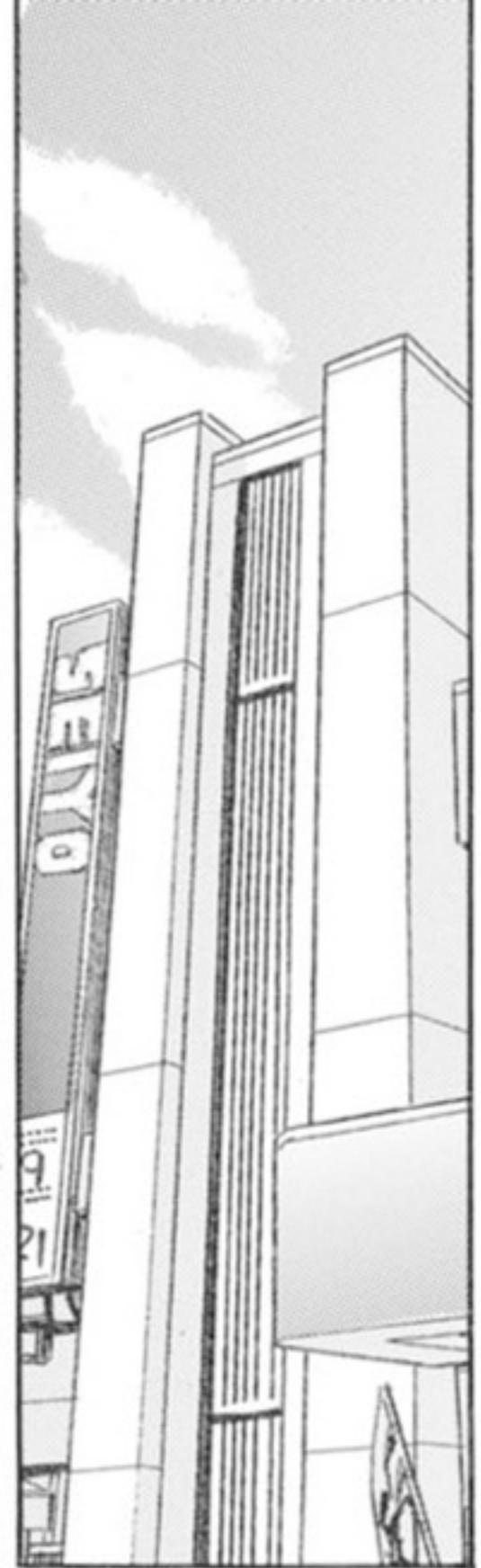
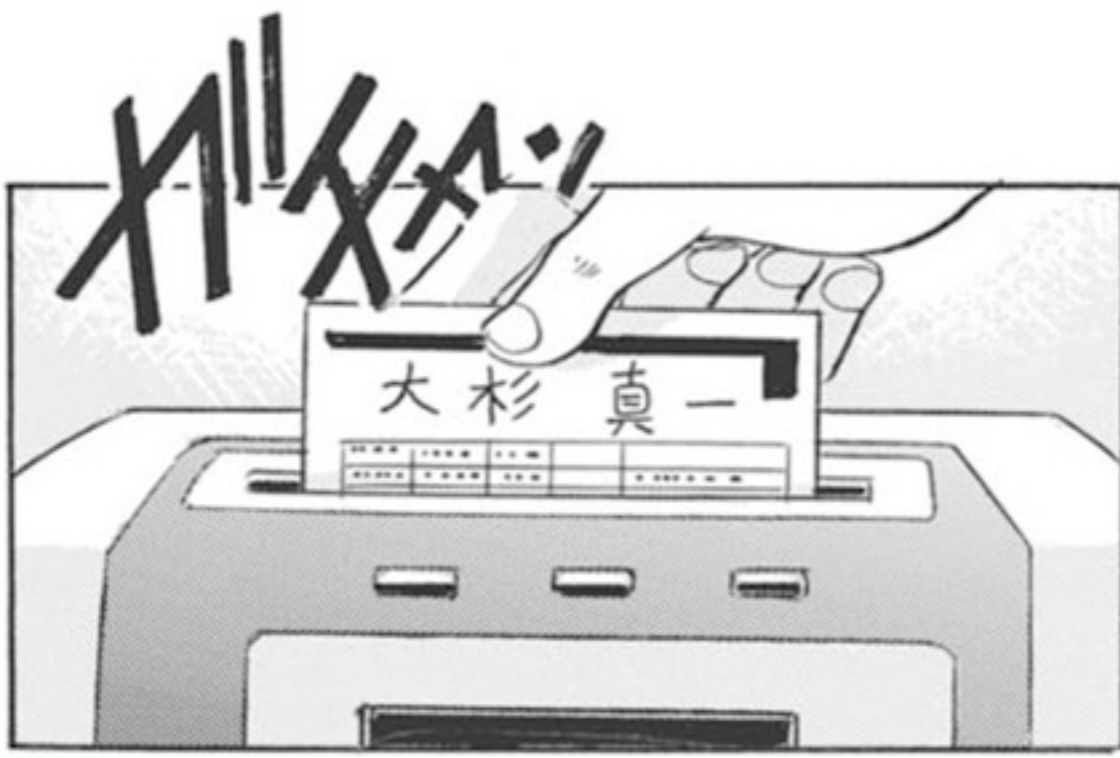
あ…ありがとう

恥ずかしながら
50を超えたオヤジが
若い人妻に対して

ほのかな恋心を
抱いて
しまいました









あ



前田さん



店長に

セクハラ
されてる

やめて
ください

ちよつと
だけ…



ど…ど…
どうしよう
……



わったったっ



入るなら
さっさと
入って

わっ



なあに
大杉さん
そんな所で

ジャマよ



大杉さん
いい加減
仕事に慣れて
もらわないと
困るんです
けど



はい…

ソイツ



あ…

おはよう
ございます

ありがとう
ございました

ごめんなさい
大杉さんまで
睨まれちゃって



いいえ
私は…

その…
大丈夫ですか？

恥ずかしい所
見られちゃい
ましたね



そんな…
悪いのは
店長で

あ





彼女の涙を見た途端
年がいきもなく
心がたぎって…



仕事も
辞めたく
ないし…

あの…

すみません
あたし本当に
困ってしまって…



その後はもう
仕事なんて
うわの空で—



本当
ですか？

今日…仕事が
終わったら
はいっ

私でよければ
相談に
のります

思わず—

ちよっと
大杉さん
ああ
すみません

キャベツとレタスの
区別もつかないの!?